



平成19年12月5日

会社名 株式会社 学習研究社
 代表者 代表取締役社長 遠藤洋一郎
 (コード番号9470 東証第1部)
 問合せ先 取締役経理部担当 中森 知
 (TEL. 03-3726-8051)

(訂正) 平成20年3月期 中間決算短信の一部訂正について

平成19年11月16日15時に発表いたしました表記開示資料のうち、中間連結キャッシュ・フロー計算書の担保提供定期預金区分に誤りが判明いたしましたため、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所につきましては下線にて表示しております。

記

【1頁】

(訂正前)

1. 19年9月中間期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
19年9月中間期	百万円 1,543	百万円 <u>△4,870</u>	百万円 1,846	百万円 <u>9,716</u>

(訂正後)

1. 19年9月中間期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
19年9月中間期	百万円 1,543	百万円 <u>△5,020</u>	百万円 1,846	百万円 <u>9,566</u>

【5頁】

(訂正前)

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、9,716百万円 (前中間連結会計期間比 4,616百万円の減少、前中間連結会計期間比 32.2%減) となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,870百万円の減少 (前中間連結会計期間末は1,538百万円の減少) となりました。これは、有形・無形固定資産の取得による支出3,481百万円、投資有価証券の取得による支出1,675百万円などによるものです。

(訂正後)

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、9,566百万円 (前中間連結会計期間比 4,766百万円の減少、前中間連結会計期間比 33.3%減) となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,020百万円の減少 (前中間連結会計期間末は1,538百万円の減少) となりました。これは、有形・無形固定資産の取得による支出3,481百万円、投資有価証券の取得による支出1,675百万円などによるものです。

【14頁】

(訂正前)

4. 中間連結財務諸表

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,543
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入支出	△2
定期預金の払戻収入	3
.....	
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△4,870</u>
.....	
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額△)	<u>△1,470</u>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,186
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	<u>9,716</u>

(訂正後)

4. 中間連結財務諸表

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,543
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入支出	△2
定期預金の払戻収入	3
<u>担保預金の預入支出</u>	<u>△150</u>
.....	
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△5,020</u>
.....	
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額△)	<u>△1,620</u>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,186
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	<u>9,566</u>

以上